

病院理念 手には技術 頭には知識 患者には愛を

# はくとほくと

Shinkomonji Hospital

新小文字病院

2026.1  
Vol.76

ご自由に  
お持ち帰り下さい

はくとほくと Vol.76



新小文字病院を  
身近に感じる広報誌

2026年1月15日発行

企画  
社会医療法人財団池友会  
新小文字病院 広報委員会

〒800-0057  
北九州市門司区大里新町2-5

TEL 0570-091100  
FAX 093-3917001

新年挨拶  
院長 高橋雄一

脳血管外科 特別顧問 中原一郎の紹介  
カマチグループ脳血管外科 特別顧問

脳動脈瘤に対する新しい脳血管内治療  
脳神経外科部長 押方章吾

多職種による心不全チームを結成  
看護部

なおき整形外科  
かかりつけ医<sup>⑤</sup>

健康フェスタ開催後のご参加のお礼  
総務課

当院職員撮影「平平台の雲海」

## 基本方針

**高度医療** 学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

**総合医療** 患者と医療情報を共有し、急性期治療から早期リハビリ、在宅医療まで一貫した、患者のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。

**地域医療** 地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。

## 患者の権利と責務

- 1. 平等な治療を受ける権利があります。**  
患者は、その社会的経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されずに、平等な治療を受ける権利を持っています。
- 2. 治療を自己決定できる権利があります。**  
患者は、医師による明確でわかりやすい言葉で十分な説明を受けた後で、治療を受ける権利、あるいは治療を受けることを拒む権利があります。
- 3. 情報を知る権利と情報を提供する責務があります。**  
患者は、医師による診断・治療、または変わり得る治療方法・予後、今後予測される問題に関して知る権利を持っています。患者は、自身の症状や健康に関する正確な情報を提供し、治療に積極的に参加する責務があります。
- 4. セカンドオピニオンを受ける権利とプライバシーが守られる権利があります。**  
患者は、自分の医療内容に対して、医師と共同して選択する権利、他の医師が

- らの意見・相談を得る権利、いかなる場合であっても人格的に扱われ、患者自身の診療に関する全てのプライバシーに関して、万全の配慮を受ける権利を持っています。
- 5. 相談する権利があります。**  
患者は、十分な情報を得、利用可能な財政的支援について相談する権利を持っています。
- 6. 良質な医療を速やかに受ける権利があります。**  
患者は、効果的医療行為を速やかに行われることを要求する権利、継続的に支持、検討された質の高い医療を受ける権利を持っています。
- 7. 病院秩序を守る責務があります。**  
患者は、全ての患者が安全で良質な医療を受けられるように配慮して頂くとともに、職員が適切な医療を行うことを妨げないよう協力する責務があります。また、医療費を適正に支払う責務があります。

## 新小文字健康フェスタ2025へご参加のお礼

### 第13回

## 新小文字健康フェスタ2025を 10月26日(日)に開催いたしました

新小文字健康フェスタにご来場、ご支援をいただきました皆さまには誠に感謝申し上げます。また、門司区、大里6校区の自治会の皆さまや地域の皆さま方のご協力のお陰をもちまして大盛況のうちに幕を閉じることができました。

開催日は雨の予報であり心配していましたが、当日は幸運にも晴天に恵まれました。無事にステージでの演奏や踊りの披露、出店による販売、体験コーナーを実施することができ、来場者の方は十分に満喫された様子でした。

次年度も地域の皆さまへの日頃の感謝と、ふれあいの場として新小文字健康フェスタを盛り上げていけるよう、スタッフ一同励んでまいります。

総務課



## 診療科目 ご案内

内科 消化器内科 消化器外科 内分泌・糖尿病内科  
循環器内科 呼吸器内科 血管外科 外科 呼吸器外科  
整形外科 リウマチ科 形成外科 皮膚科 泌尿器科  
放射線科 脳神経外科 脊椎脊椎外科 救急科  
病理診断科 リハビリテーション科 麻酔科 人間ドック



## 交通アクセス



## 駐車場のご案内

ご来院の際は400台収容可能な駐車場をご利用ください。

- 外来受診・お見舞い  
4時間まで……………100円  
以降1時間毎に……………200円
- 検査・手術付添等に関わる長時間滞在  
8時間まで……………100円  
以降1時間毎に……………200円

新小文字病院 ホームページ

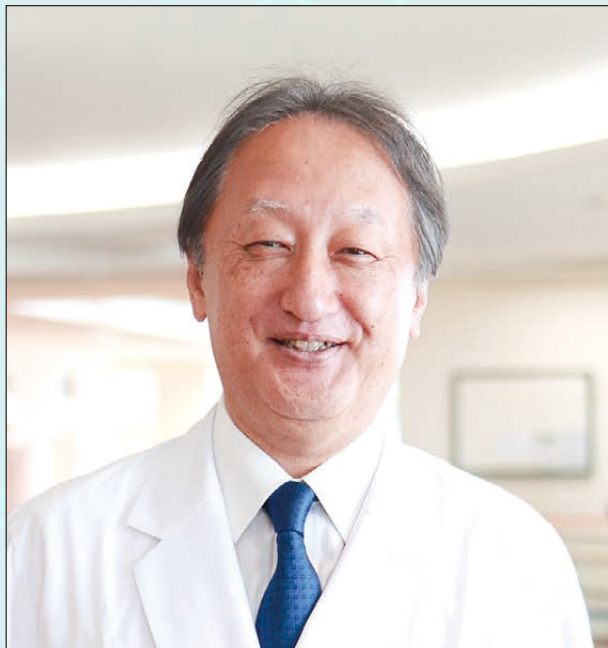
<https://www.shinkomonji-hp.jp/>  
E-mail: info@shinkomonji-hp.jp



Design NPO法人列島会  
創造館クリエイティブハウス 印刷事業部



# カマチグループ 脳血管外科 特別顧問 中原一郎の紹介



脳血管外科 特別顧問

なか はら いち ろう  
中原 一郎 東京医科歯科大学卒業

専門分野

脳血管外科、脳血管内治療、脳卒中診療、  
脳神経外科全般

好きな言葉

失意泰然 得意淡然

所属学会

- 日本脳神経外科学会
- 日本脳卒中学会
- 日本脳神経血管内治療学会
- 日本脳卒中の外科学会
- 日本神経放射線学会

ほか

趣味・特技

- クラシック♪
- パソコン
- 寺院・仏像鑑賞
- 現在は自宅DIYのため、  
第二種電気工事士の勉強中(たぶん合格?!)

自己紹介

本年9月から、当院および福岡新水巻病院で外来診療、手術治療に携わるとともに、カマチグループ全体の脳血管疾患の外科治療の顧問として頑張っております。熊本県出身ですが、父親の仕事（銀行員）の関係で転勤が多く、私自身も京都や大阪などを経て、小倉記念病院脳神経外科を15年間担当した後、藤田医科大学に異動し、10年ぶりに北九州に戻って参りました。

抱負

脳卒中は、がん・心臓病と並ぶ三大疾患であり、突然私たちの命を脅かします。救命できた場合でも、運動麻痺や言語障害、高次脳機能障害が残存し、要介護状態となることも少なくありません。しかし近年は、脳血管カテーテル治療や神経内視鏡手術の進歩により、発症早期に適切な治療を行うことで、社会復帰が可能な患者さんが確実に増えています。発症直後から迅速な脳神経外科治療を行い、ただちに積極的なリハビリテーションを展開することで、患者さんの生活復帰・職場復帰を強力に支えていきます。また、地域の先生方との協力を図り、ご自宅に戻られた後も切れ目のない医療を提供できる体制づくりに努めています。これは患者さんひとりひとりのQOL向上に寄与するだけでなく、地域社会全体としての「医療のSDGs」の実践とも言えるでしょう。

脳血管内治療の発展は、脳卒中を未然に防ぐ医療にもつながっています。脳動脈瘤に対しては、フローダイバーターやW-EBといった最新デバイスによる根治性が高い低侵襲治療が広がりつつあり、頸動脈狭窄症に対しては、頸動脈ステント留置術が標準治療として確立しています。脳卒中の背景には高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、肥満、運動不足といった生活習慣が深く関与し、予防医療や慢性期管理における地域医療との連携は欠かせません。

脳卒中の発症予防から再発防止、急性期治療、そしてその後の生活支援まで私共は地域の先生方とタッグを組み、地域の皆さまの健康を共に守って参ります。



院長 高橋 雄一

新年明けましておめでとござい  
ます。地域の皆さまにおかれまして  
は、健やかに新春をお迎えのこととお  
慶び申し上げます。旧年中は当院の  
運営に多大なるご厚情とご支援を賜  
り、心より御礼申し上げます。

令和8年を迎えるにあたり、職員一  
同、地域医療を守り抜く決意を新た  
にしております。

昨年2025年は、「2025年間  
題」「団塊の世代が75歳以上となる節  
目の年でした。ここ北九州市、門司区  
においても人口減少と少子高齢化は  
進行していますが、私はこの状況を単  
なる「衰退」とは捉えておりません。  
むしろ、地域の絆を深め、互いに支え

合う「共助」の仕組みを育てていく好  
機と考えています。病気を治すことだ  
けでなく、住み慣れた門司の地で最期  
まで安心して暮らしていただけるよ  
う、多職種が連携して生活を支える  
ことこそ、これからの医療機関に求め  
られる役割です。

近年、診療報酬改定や医師の働き  
方改革など、医療を取り巻く制度は  
大きく変化し、国は医療機能の分化  
と連携を強く求めています。急性期  
病院、回復期病院、かかりつけ医、介護  
施設がそれぞれの持ち場を担いなが  
ら、一つのチームとして患者さんを支  
える体制づくりが急務です。当院も  
地域の医療介護施設との「顔の見え  
る連携」を強化し、切れ目のない医療  
介護の提供に努めてまいりました。

このような変化に対応するため、  
当院が力を注いでいるのが「病院DX  
（デジタルトランスフォーメーショ  
ン）」です。

「DX」と聞くと機械的で冷たい印象  
を持たれるかもしれませんが、私たち

の目的は「人への温かさ」を守り、取り  
戻すことにあります。マイナパー  
カードによる保険証利用や電子カル  
テ情報の共有、AI技術による診断支  
援などを活用することで、事務作業  
を減らし、その分を診察や説明、ケア  
の時間に振り向けることができます。

世界では、気候変動による自然災  
害や国際情勢の不安定化など、不安  
な出来事が続いております。しかし、  
どんな状況にあつても、命の重さは変  
わりません。当院は創立以来受け継  
いだ「断らない救急」の姿勢を、本年  
も揺らぐことなく貫いてまいります。

24時間365日、いつ、どなたが、ど  
のような状態で搬送されても受け入  
れられるよう、救急科およびER、救  
命センターの体制整備とスタッフ教  
育を重ねております。「新小文字病院  
があるから安心だ」と地域の皆さま  
に思っていたことができることが、私たちの  
誇りであり、日々の原動力です。

私たちは、技術の進歩を積極的に  
取り入れながらも、医療の本質である



「愛」と「奉仕の精神」を決して忘れま  
せん。変化を恐れず、挑戦を続けつづ  
も、守るべきものは揺るがせにしない  
——そんな新小文字病院であり続け  
るべく、職員一丸となつて精進してまい  
ります。

本年が皆さまにとって良い一年とな  
りますよう心よりお祈り申し上げます  
とともに、変わらぬご支援とご指導ご  
鞭撻を賜りますよう、謹んでお願い申  
上げます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

高橋院長の新年ご挨拶



# 脳動脈瘤に対する新しい脳血管内治療 フローダイバーター留置術とW-EB塞栓術



脳神経外科 部長

おしかた しょうご  
押方 章吾

出身大学

久留米大学

免許・資格

- 日本脳神経外科学会 専門医・指導医
- 日本脳神経血管内治療学会 専門医・指導医
- 日本脳卒中学会認定脳卒中 専門医・指導医
- 臨床研修指導医
- 液体塞栓治療 (Onyx、ヒストアクリル) 実施医
- フローダイバーター (Pipeline、FRED) 実施医
- 髄腔内パクロフェン治療実施医
- ボツリヌス治療実施医

脳の血管にできる「脳動脈瘤」は、破裂すると命に関わる「くも膜下出血」を起こす危険な病気です。近年は、頭を開かずにカテーテルで治療する「脳血管内治療」が大きく進歩し、患者さんの負担を大きく減らせるようになってきました。今回は、当院で行なっている最新デバイス「フローダイバーター」と「W-EB」について簡単に紹介します。

脳神経外科 押方章吾

効果的な治療が可能です。

一方で、大きな動脈瘤や複雑な形の動脈瘤では、コイルのみでは十分に閉塞が得られない場合があります。新しい治療デバイスが求められていました。

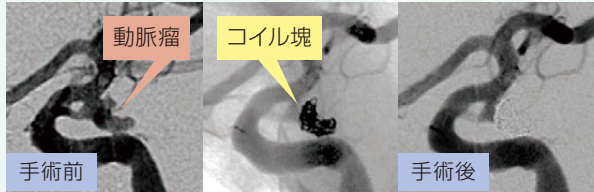
## 新しい治療デバイス① フローダイバーター

「フローダイバーター (Flow Diverter)」(図4)は、動脈瘤の入口部分に非常に目の細かい金属の筒状デバイスを留置し、血液の瘤内への流れを遮断することで動脈瘤の自然な閉鎖を促す治療法です。「動脈瘤の中を詰める」のではなく、「外側から血流をコントロールする」

## 脳動脈瘤の基本的治療法 「コイル塞栓術」

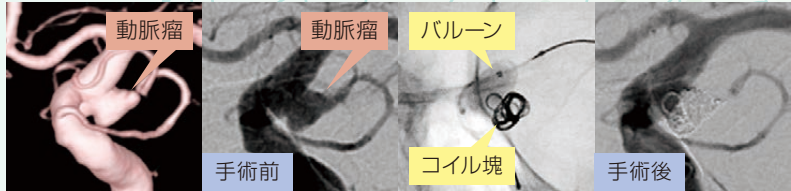
脳動脈瘤に対する脳血管内治療における基本的な治療方法は「コイル塞栓術」(図1)です。動脈瘤の中に細い金属コイルを詰めて、血液が入り込むのを防ぎ破裂を予防します。

入口が広い広頸動脈瘤では、コイルがはみ出さないように「バルーンアシストコイル塞栓術」(図2)や、血管内に細い網状のステントを置いてコイルを支える「ステント併用コイル塞栓術」(図3)を行うこともあります。これらの方法により、多くの動脈瘤で安全かつ



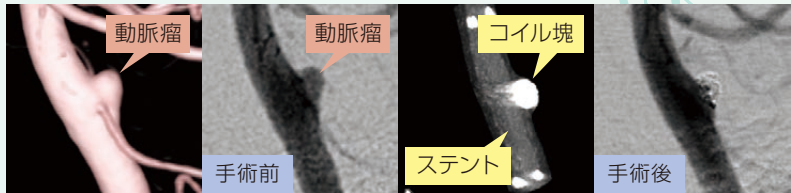
▲ 図1：コイル塞栓術

内頸動脈後交通動脈分岐部動脈瘤破裂に伴うくも膜下出血  
シンプルなコイル塞栓術にて分枝を温存して治療



▲ 図2：バルーンアシストコイル塞栓術

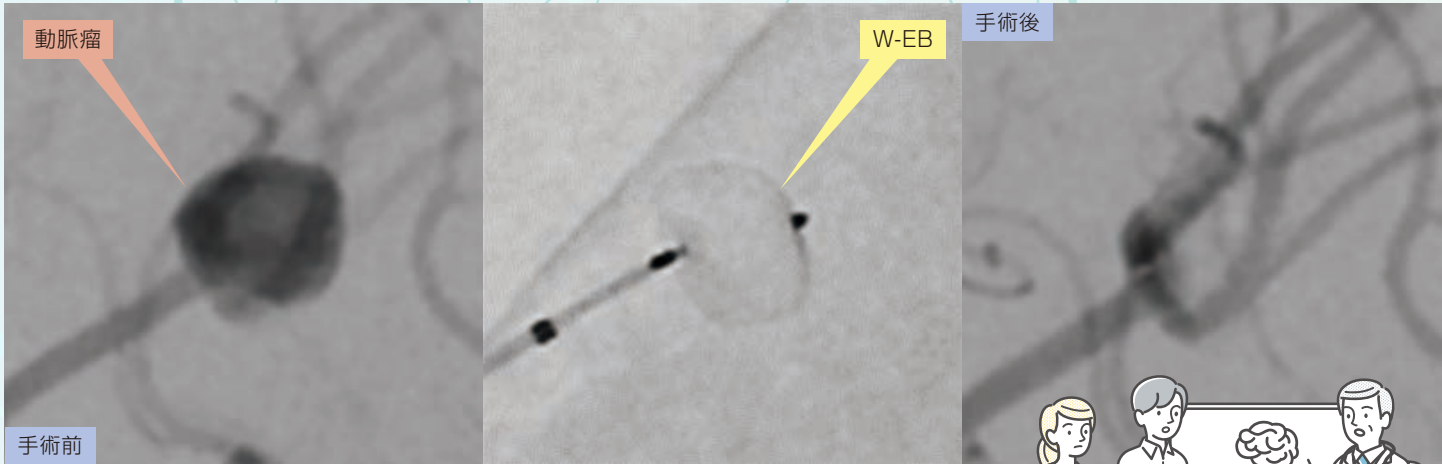
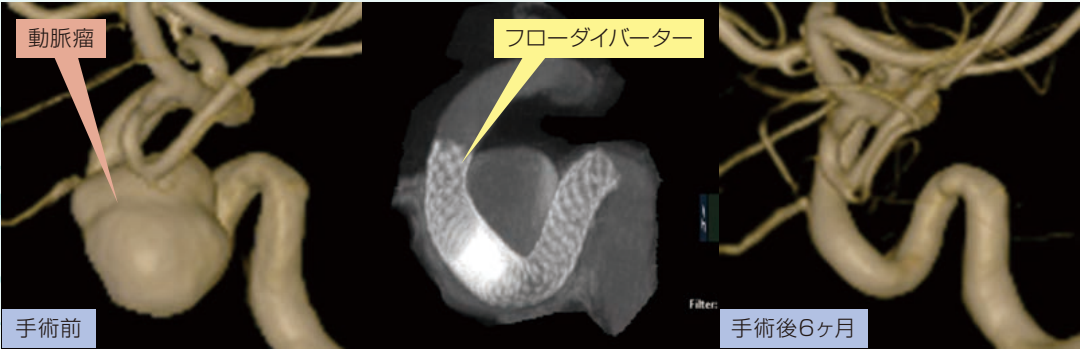
内頸動脈後交通動脈分岐部動脈瘤破裂に伴うくも膜下出血  
広頸の動脈瘤でありバルーンを用いてコイル塊の母血管への逸脱と分枝の温存を図って治療



▲ 図3：ステント併用コイル塞栓術

椎骨動脈解離によるくも膜下出血  
小型血豆状であり慢性期にステント併用コイル塞栓術を施行

図4：フローダイバーター  
内頸動脈瘤  
大型かつ眼症状を呈しており  
フローダイバーターを用いて  
治療  
治療半年後には動脈瘤の消  
失と眼症状の改善を得た



▲ 図5：W-EB

前大脳動脈瘤  
分岐部の広頸動脈瘤でありW-EBを用いて治療  
W-EB留置直後より瘤内の血流停滞を得た



点が従来治療と大きく異なります。  
大きな動脈瘤や広頸動脈瘤など、従来治療では対応が難しかった症例でも、根本的な治療が期待できることが特徴です。また動脈瘤による神経圧迫症状を呈している場合は、本治療により神経圧迫が解除され症状が改善することが期待されます。

## 新しい治療デバイス② W-EB

W-EB (Woven Endobridge) (図5)は、瘤内に配置し血流を遮断することで、動脈瘤の血栓化、閉塞を得るデバイスです。特に、「血管の分岐部」にできる動脈瘤で高い有用性を示します。

コイル塞栓術よりも治療時間が短く、安定した塞栓効果が期待されます。また、本治療は従来のステント併用コイル塞栓術やフローダイバーターと異なり、母血管に金属が留置されないため、術前術後の抗血小板薬の使用が最小限で済むことから、長期の抗血小板薬の内服が困難な方や破裂急性期にも選択肢となります。

## 中原 一郎先生のご紹介

脳血管内治療の第一人者である

中原 一郎先生が当グループ脳血管外科顧問に就任されました。中原先生は、脳動脈瘤をはじめとする脳血管障害の治療で全国的に知られる脳血管内治療のエキスパートです。本稿で紹介した「フローダイバーター」及び「W-EB」に関して日本有数の治療経験と実績をお持ちです。当院には毎週金曜日に外来及び治療に来院されます。

## 地域の皆さまへ

「脳動脈瘤」は、形や大きさ、発生部位、破裂か未破裂かによって治療法が変わります。当院では最新デバイスの適応を含め、患者さんひとりひとりに最も安全で適した治療法を提案します。

## クリニックの先生方へ

近年、脳動脈瘤の治療手段は大きく広がり、従来のコイル塞栓術に加え、フローダイバーターやW-EBが適応症例を補完する形で治療成績の向上につながっています。治療適応のご相談やフォローアップの疑問点などございましたら、どうぞお気軽にお問い合わせください。





## 多職種による心不全チームを結成

心不全という病気は、再発や増悪を繰り返すことも少なくありません。入院中の治療だけでなく、退院後の生活全体を通して、患者さんやご家族が安心して暮らせるよう、当院では多職種による心不全チームを結成し、切れ目のない支援を行っています。

このチームは、医師、看護師（病棟・外来・患者総合支援）、薬剤師、リハビリスタッフ、管理栄養士などが協力し、患者さん一人ひとりに合わせた多角的なサポートを提供しています。再入院を減らし、心不全とうまく付き合いながら元気に長く生活するための体制を構築しています。

ご家族を含めた皆さまの不安や悩みに寄り添い、共に考え、歩みを進めてまいります。

### 患者さんご家族へのメッセージ

心不全に関する正しい知識を身につけ、再発・増悪予防に繋げることが私たちの目標です。「心不全について一緒に考え、これからの人生をよりよく生きる」ために、私たちチームが全力でサポートします。

困ったときは、いつでもご相談ください。

看護部

### 主なアドバイス内容

#### 生活指導

食事・水分・体重の自己管理方法

#### 運動指導

心臓に負担をかけない適切な運動量のアドバイス

#### 薬剤管理

心不全治療薬についての正しい知識と飲み方

#### 療養相談

入院中から退院後の生活

#### 地域連携

切れ目のない継続的なサポート

かかりつけ  
医紹介 ④



2025年10月1日開院

## なおき整形外科

2025年10月1日に小倉南区徳力の地に新しい整形外科クリニックが誕生しました。私は管理者・院長を務めます。羅本尚樹（らもと なおき）です。地域の皆さまにお馴染みの「くすりのフタバ徳力店」が閉店となるタイミングで、跡地を引き継ぎました。守恒・徳力エリアの南側に位置し、モノレールバスによるアクセスが良い立地です。16台分の無料駐車場を確保。地域住民の皆さま方のお役に立てると確信し、この地での開院を決定しました。

### クリニックの特徴と 特色・概要

当院は、骨や関節・筋腱・靭帯など運動器の不具合に対する診療はもろろのこと、肩関節診療に加え、骨粗しょう症治療や運動器リハビリテーションにも注力しています。また、土曜日午後診療・こども優先診療など、他所にはない独自の診療スタイルを実践しています。

### 新小文字病院との 連携について

限られた医療資源の中ではありますが、当院を選んで来院してくださる患者さんに付加価値を感じていただけるよう、スタッフ一同、毎日楽しみながら全力で診療にあたっています。

### 地域の皆さまへの メッセージ

開院してまだ間もない中、ありがたいことに連日たくさんのお患者さんに来院していただいています。

すべての年代の皆さまが、いま、を健やかに過ごすことができますよう、スタッフ一丸となって、明るく活気のある整形外科クリニックを作るとともに、地域住民の皆さまに信頼していただけるよう全力を尽くします。

整形外科以外のお悩みにつきましても、お気軽にご相談ください。まだまだ至らない点が多々ありますが、日々成長していきますので、末永くどうぞよろしく願っています。

小倉南区の皆さまに明るく活気のある整形外科診療を提供いたします



院長 羅本 尚樹

1983年兵庫県生まれ。大学卒業後、兵庫医科大学整形外科学教室に入局。信原病院で故・信原克哉先生に師事。その後カマチグループ整形外科チームに所属。2025年10月なおき整形外科を開業、現在に至る。

免許・資格 日本整形外科学会指導医・専門医  
趣味 野球・旅行(リゾート地)・麻雀・洋菓子作り



住所 〒802-0974 福岡県北九州市小倉南区徳力6丁目10-15  
TEL 093-383-5678 (受付)  
093-383-5688 (リハビリ)  
診療科 整形外科・リハビリテーション科

受付時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00~13:00 (受付8:50~12:30)	○	○	○	—	○	○
午後	15:00~18:00 (受付14:30~17:30)	○	○	○	—	○	▲

▲ 受付…16:30まで 診察…17:00まで  
● 木曜・日曜祝日／休診

